

♠ 今年度会長幹事へ激励品の贈呈



大杉会長エレクトより会長幹事へ

♠ 本日の卓話

埼玉県済生会川口総合病院 院長 佐藤雅彦様



“新型コロナウイルス感染症”

診断が難しい感染しても発症しない場合がある。精度の高い診断手法がない。確立された治療法がない。ワクチンがない。そして重篤化し死亡する可能性がある

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人込みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

↑厚生労働省「新型コロナウイルスを防ぐには」

*新型コロナウイルスの症状

咳・痰・発熱・咽頭痛・倦怠感・呼吸困難・味覚障害・聴覚障害・下痢

*感染経路 「飛沫感染」「接触感染」

*診断 「PCR検査」「抗原検査」「抗体検査」

*ウイルスの変異

RNA ウィルスである新型コロナウイルスは増殖を繰り返すうちに遺伝子変異は生まれています。

*ファクター X

新型コロナウイルスへの対策としては、徹底的な検査に基づく感染者の同定と隔離、そして社会全体の活動縮小の2つがあります。日本は両方の対策とも、他の国と比べると緩やかでした。PCR検査数は少なく、中国や韓国のようにスマートフォンのGPS機能を用いた感染者の監視を行うこともなく、さらには社会全体の活動自粛も、ロックダウンを行った欧米諸国より緩やかでした。しかし、感染者や死亡者の数は、欧米より少なく済んでいます。何故でしょう

私は、何か理由があるはずと考えており、それをファクターXと呼んでいます。ファクターXを明らかにできれば、今後の対策戦略に活かすことが出来るはずです。

*COVID-19 に対する治療法

現時点では特異的な治療薬は存在しない（対症療法のみ）酸素投与・人工呼吸管理・細菌感染合併等で抗菌薬など

*新型コロナウイルス感染症は手ごわい疾患です

新型コロナウイルス感染症が収束するにはそれなりの時間がかかります。治療法の確立、ワクチンの出現、安心して使える、安定して供給できことが集団免疫の獲得となります。



Thank you

♠ 出席・ニコニコ報告

- | | |
|-------|---|
| 増田 徹 | 佐藤先生本日は宜しくお願ひします |
| 榎 孝夫 | 佐藤院長本日は宜しくお願ひします |
| 稲川 和成 | 佐藤院長先生本日はよろしくお願ひいたします |
| 大杉 能弘 | 久しぶりの例会はやっぱり皆様に会えて良いですネ |
| 切通 勇次 | 佐藤先生ありがとうございます |
| 須田 清 | 暑い！！先月まで涼しかったので参った！ |
| 並木 幸治 | 長い梅雨が終わり今度は 30℃以上の夏ですね 佐藤先生本日の卓話楽しみにしておりました |
| 藤原 忠雄 | 佐藤先生本日はよろしくお願ひいたします |
| 森川 昌紀 | 佐藤院長卓話を楽しみにしています |
| 森田 康之 | 佐藤先生お久しぶりです 今日卓話ありがとうございます |
| 盧 聖煥 | |

10口 161000円 累計 53,000円

会員数	出席者	計算会員	MU	%
19	10	16	1	68.75

